＜結核（ＢＣＧ）＞

①	接種後に瘢痕が見られないのですがどうしたらよいですか？
	→同じ強さの接種を受けても、針痕の状態は個人差が非常に大きく、瘢痕の程度と接種の効果を関連づけることはできません。薬剤メーカーからは６ヵ月程度は様子を観察するようにと聞いています。また必要ならばツベルクリン反応で確認することも含めて、医師と相談されることをお勧めします。
②	海外から帰国した１歳半の児、ＢＣＧ未接種ですが接種を勧めてもよいでしょうか？
	→可能ですが、ツベルクリン反応で陰性を確認後に、ＢＣＧ接種するとよいでしょう。
③	海外から帰国した５歳児、ドイツでは「薬で治るため予防接種は不要」と言われたためＢＣＧ未接種でしたが、帰国後「受けさせたい」と保護者から相談されていますが勧めてもよいでしょうか。
	→日本は低蔓延国ではないため、ＢＣＧを受ける方がよいでしょう。ツベルクリン反応で陰性を確認後に、受けるのがよいでしょう。
④	18歳、T-スポット検査を受けた結果でＢＣＧ接種を希望されている人がいます。接種は可能でしょうか？
	→接種の年齢制限はありませんが、学童以上でのＢＣＧ接種はその効果は期待できないとされています。特に高齢者は接種を受けると接種部位がケロイドになりやすい等副反応が出やすいです。
⑤	BCG接種後にコッホ現象が認められ、予防内服を開始した児について、他の予防接種を受けることはできますか？
	→予防内服自体は接種不可にはあたりませんが、詳細は主治医にご相談ください。
⑥	標準接種期間は生後5～8ヵ月となっていますが、渡航のため生後4ヵ月でも接種は可能ですか？
	→4ヵ月時でも問題ありません。 渡航予定の赤ちゃんは、できるだけ日本で受けられる接種を勧めてください。